



市民とともに作り・育てる地域の水環境
Water environment in the region to grow with citizen

持続可能な下水道に向けて

地域には水辺を「愛し・つくり・育てる」ヒトがいる
地域で活動する様々なヒトは多くの見識を有する「貴重な財産」
様々な市民との連携を通して、より地域に貢献できないか？



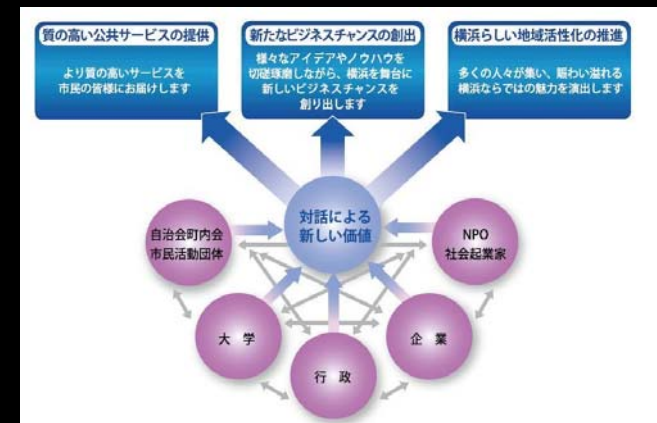
地域の資源を活用した新たな下水道

持続的発展が可能な社会の構築に貢献(新ビジョン)
地域のことは地域で考える仕組みをつくるために・・・
新たな下水道(「補完」「協働」)に向けた担い手探し



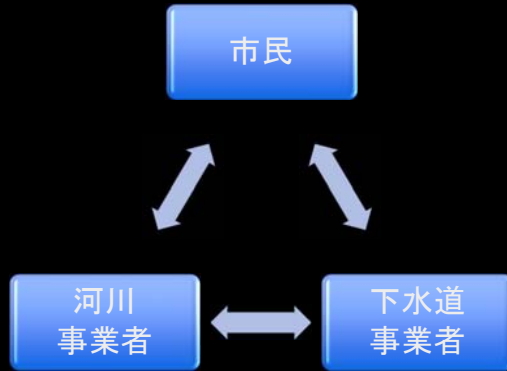
水環境を支える新たな担い手づくり

新たな担い手との関係づくり
お互いのニーズをマッチングさせる
Keywords・・・情報 → 対話 → 共感 → 連携



市民科学のスタートも対話から・・・

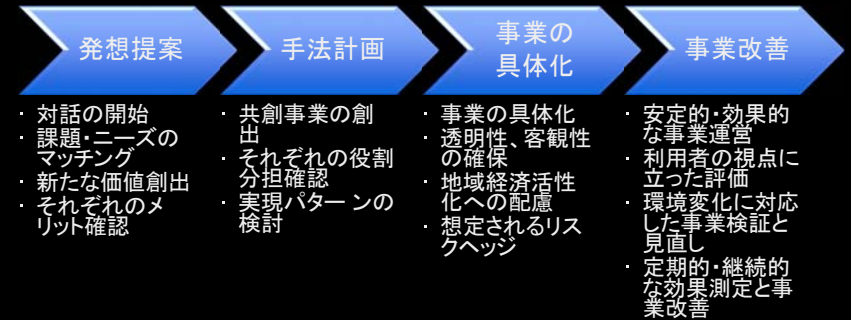
地域(市民・水環境)は何を望んでいるのか?何ができるのか?
 河川事業者は・・・下水道事業者は・・・
 いかに3者のニーズをいかにマッチングさせ、Win×Winを見い出すか



5

対話から生まれる新たな手法

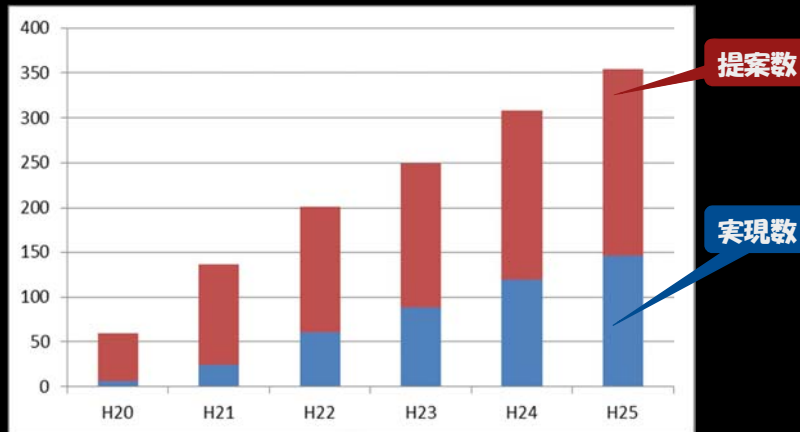
「下水道を核とした市民科学の育成モデル」の手応えを掴むために・・・
 既成概念に捉われず、関係者による自由な対話が重要 (Future Session)
 「お互いが不完全な時の対話によって新たなモノが生み出される」



6

しかし、連携の実現はそう簡単ではない

横浜市で進める公民連携の成功実績は全体の約4割
 すべてが成立するわけではなく、不成立も多い
 なぜならば「相手のあるコト」だから・・・



7

今回の成果をどこに置くか?

成果のイメージを共有することが大切!
 ステークホルダーによって異なるニーズのマッチングの仕組みを発掘?
 keywordは「生物多様性」「市民」「下水道」?

Discussion . . .

8